

レジメンcode:	C16-38
適応がん種:	胃癌
レジメン名:	Pembrolizumab+CAPOX (XELOX)
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	d1
L-OHP	オキサリプラチン(エルプラット)	130	mg/m ²	点滴(2時間)	d1
CAP	カペシタビン(セローダ)	[*]	mg/m ²	内服(朝夕食後)	d1夕～d15朝

・臨床試験では、Pembrolizumab+CAPOX療法6コース実施後、C16-39,40:Pembrolizumab±Cape療法へ移行し、最大35サイクルまで投与を行なった。

[*]: 下表を参考

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本			
				ルート確保	
2) キイトルーダ		200 mg/body			
生食	50ml	1 本			
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須	
3) 生食	50ml	1 本			
	主管②	点滴	15分		
4) アロカリス	235mg	1 V			
パロノセトロン	0.75mg	1 V			
デキサート	3.3mg	1.5 A			
生食	50ml	1 本			
	主管③	点滴	30分		
5) オキサリプラチン(エルプラット)		130 mg/m ²		【ケモセーフ使用】	
ブドウ糖液5%	500ml	1 袋			
	主管④	点滴	2時間		
6) 生食	50ml	1 本			
				フラッシュ	
				〈所要時間	約3時間30分〉

day1 夕～day15朝

1) カペシタビン(セローダ)	[*] mg/m ²
	内服 朝夕食後

次ページあり

[*]

体表面積	投与量
1. 36㎡未満	1,200mg(4錠)/回 【2,400mg(8錠)/日】
1. 36㎡～1. 66㎡未満	1,500mg(5錠)/回 【3,000mg(10錠)/日】
1. 66㎡～1. 96㎡未満	1,800mg(6錠)/回 【3,600mg(12錠)/日】
1. 96㎡以上	2,100mg(7錠)/回 【4,200mg(14錠)/日】

***適応**

: 化学療法歴のないHER2陰性の治癒切除不能な進行・再発の胃腺癌または食道胃接合部腺癌

: PD-L1発現率(CPS)により異なる傾向が示唆されている。

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【KEYNOTE-859 Lancet Oncol 2023;24:1181-95:(PMID:37875143)】

【キイトルーダ】

***甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。**

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回)(免疫チェックポイント2回目～)

*インラインフィルター(0.2～5μm)を使用する。

*調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。

*生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

*希釈後、25℃以下で6時間以内または2～8℃で合計96時間以内に使用する。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。